

アグリ ワーク ポイント AGRI WORK POINT



茶指導販売課 菊川 響



気温の低下に注意しましょう

低温による被害

11月から気温が下がり、いよいよ秋本番となります。茶樹は気温が下がると休眠期に入りますが、翌年一番茶の芽を充実させるには、この時期の管理も重要になります。気象状況などにも注意して、適切な管理を行いましょう。

赤枯れ：強い低温下で茶樹が凍結し、被害が大きくなると茶園は赤褐色に見えます。

青枯れ：低温で幹の一部が凍結したり、強風に当たることによって水分不足となり、葉や茎が枯れることがあります。

寒風害（落葉）：強風などの影響で葉が落ちる被害です。

今後の気象傾向について

管内ECセンサーにおけるこの時期の過去のデータは下表の通りです。

長期予報によると、11月の気温は平年よりもやや高くなる予想されています。

今年の夏場は台風の影響で降水量は多くなりましたが、年間降水量を見ると毎年大きく変化していないことが下表より分かります。そのため、夏場に多く雨が降ったことで秋・冬場はやや乾燥気味になることが予想されます。

気象状況に注意し管理の適期を逃さないようにしましょう。



JA大井川
環境保全情報

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
11月の平均気温	13.6℃	12.7℃	14.2℃	13.5℃	
年間の積算降水量	2306.6mm	2262.9mm	1741.4mm	1937.2mm	2588.6mm (8月末現在)

病害虫の防除

11月上旬

チャトゲコナジラミ・カンザワハダニなどの防除時期になります。気温上昇・乾燥により個体数が増加する恐れがあるため、葉裏をよく観察し適期防除を行います。